

## 農業用水路の親水化整備（日野向島用水地区）

農業用水を親しみやすい水辺として利用してもらえるように、水路やため池に必要な施設を整備する事業を「水環境整備事業」といいます。整備できる施設の内容は以下のとおりです。

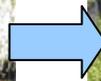
- ①親水・景観保全施設～例：親水護岸、遊水施設、せせらぎ水路等
- ②生態系保全施設～例：蛍ブロック、魚巢ブロック、草生水路、魚道等
- ③利用保全施設～例：遊歩道、四阿（あずまや）、ベンチ、パーゴラ等
- ④地域用水機能増進施設～例：共同洗い場、チェックゲート等

なお、現在は内容が拡充され、「地域用水環境整備事業」と名称を変えています。

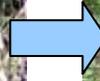
日野市の向島用水は、多摩川支川の浅川に架かる万願寺歩道橋（愛称：ふれあい橋）の上流から取水している農業用水路で、4.2ヘクタールの田畑を潤しています。この向島用水の一部区間において、平成4～7年度にかけて同事業により水辺空間整備が実施されました。

農業用水本来の機能はそのまま維持し、治水や管理のしやすさだけを追求したコンクリート護岸の水路から、傾斜のゆるいスロープの土水路や玉石積の護岸に変更するなど、かつての農業用水の姿の復活と、多様な生物が回帰できる場を設けています。

【整備前】



【整備後】



トンボ池（潤徳小学校裏手）

